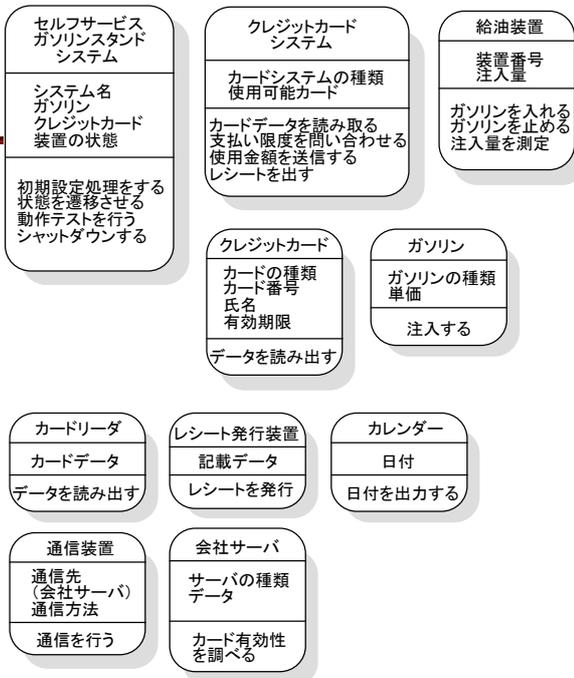
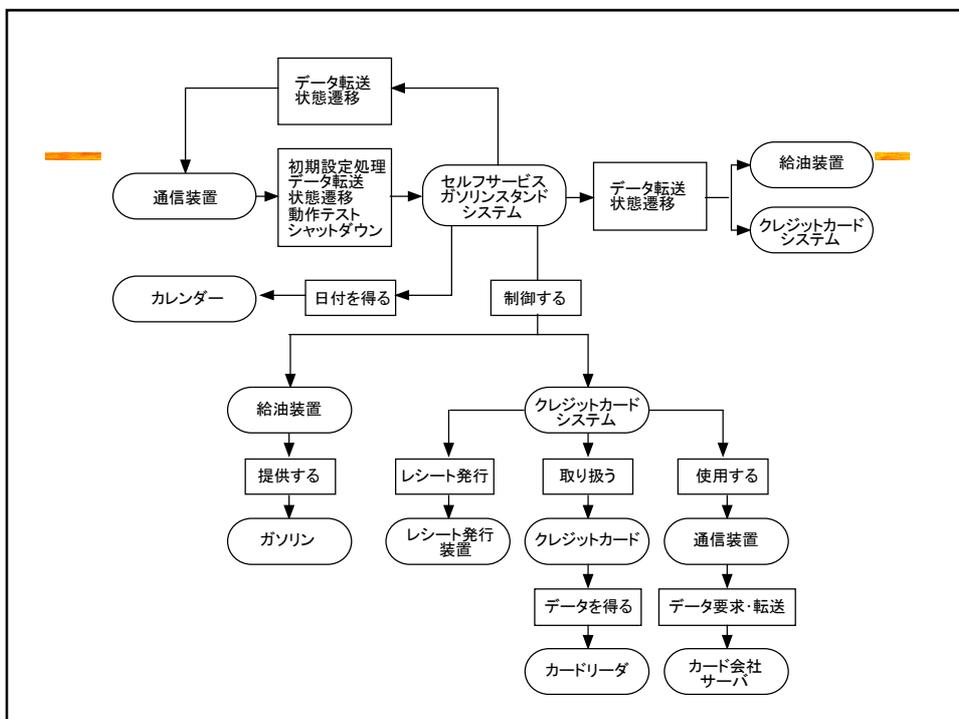
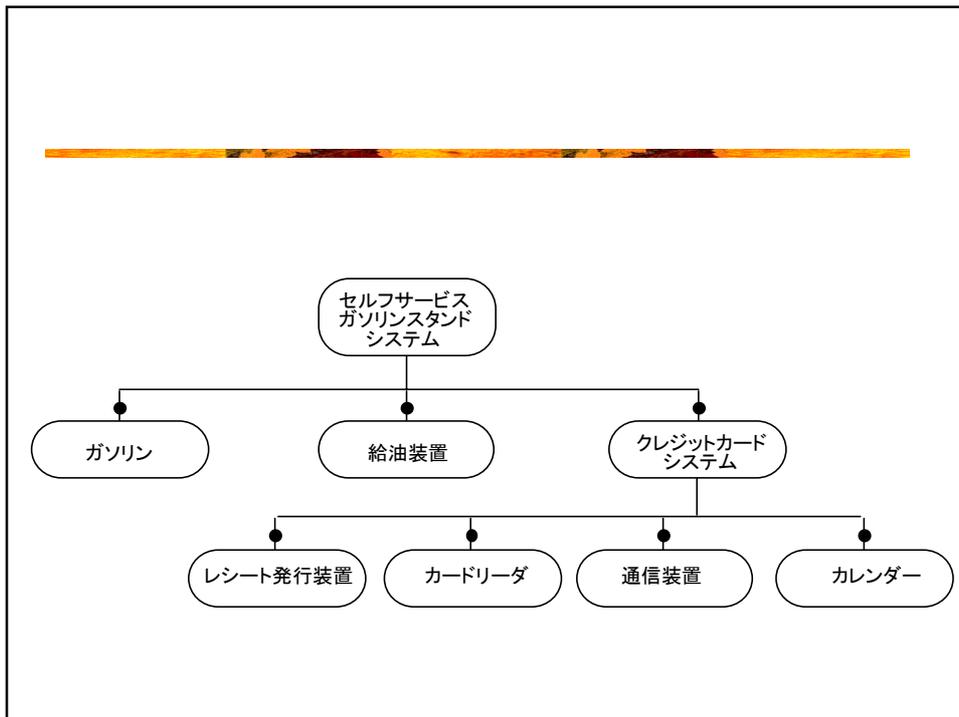


第四回レポート

- セルフサービススタンドの各ポンプには、それぞれクレジットカードの挿入口がついている。運転手はまずここにクレジットカードを挿入する。カードの情報はクレジット会社のコンピュータに送信され、クレジット会社のコンピュータによってカード有効性がチェックされ、支払い限度が決定される。次に運転手はレギュラーガソリンとハイオクガソリンのどちらかをボタンで選択し、必要なだけ給油する。給油が終了してポンプが元の位置に戻されると、運転手のクレジットカード口座から料金が引き落とされる。その後、カードはカード挿入口から返却される。もしもカードが有効でない場合は、給油は不可能であり即座にカードが返却される。

解答例





この解答例の主な問題点

- ▶ Service-Usage Chart のサービス名と、オブジェクト図のサービス名の不一致(ほとんどの人ができていない)
- ▶ ハードウェア直接操作クラス(ボタン、ポンプ等)も必要

一般によく見られた問題点

- ▶ Service-Usage Chart は、データフローではありません。コントロールフローでもありません。つまり、流れではないのです。矢印を順番に追いかけると何かがわかるというものではないということです。矢印と矢印の間に時間的な関係はないのです。
- ▶ Service-Usage Chart は、あるクラスで提供されているサービスを他のあるクラスが使っているという **二クラス間関係**を矢印で表現し、それを一枚の図にまとめたものに過ぎません。

一般によく見られた問題点

- ▶ 「運転手」のようなクラスは、要求分析時には現れますが、設計時には現れません。これは、「運転手」が開発対象のシステムの一部ではないためです。